

都道府県事業実施状況報告書及び評価報告書

整備事業

I 産地競争力の強化を目的とする取組用

(徳島県 令和元年度)

市町村名	事業実施主体名	メニュー① (対象作物・畜種等名)①	成果目標の具体的な内容①	事業実施後の状況①						成果目標の具体的な実績①	メニュー② (対象作物・畜種等名)②	成果目標の具体的な内容②	事業実施後の状況②						成果目標の具体的な実績②	事業内容 (工種、施設区分、構造、規格、能力等)	事業費 (円)	負担区分 (円)				完了年月日	事業実施主体の評価	都道府県の評価	備考
				計画時 (平成28年)	1年後 (平成29年)	2年後 (平成30年)	3年後 (令和元年)	目標値 (令和元年)	達成率				計画時 (平成28年)	1年後 (平成29年)	2年後 (平成30年)	3年後 (令和元年)	目標値 (令和元年)	達成率				交付金	都道府県費	市町村費	その他				
				10a当たり 24.4時間 (総労働時間 10,057時間/作付 面積 41.2ha)	10a当たり 24.4時間 (総労働時間 10,057時間/作付 面積 41.2ha)	10a当たり 18.2時間 (総労働時間 11,243時間/作付 面積 61.7ha)	10a当たり 17.1時間 (総労働時間 12,892時間/作付 面積 75.3ha)	10a当たり 17.3時間 (総労働時間 20,535時間/作付 面積 118.7ha)	102.8%				10a 当たり労働時間が 29.9%削減した。	土地利用型作物(新規需要米)	水稲作付面積のうち新規需要米が占める割合を12.0ポイント増加	9.1% (坂野地区新規需要米 19.5ha/全水稲面積 215.7ha)	6.5% (坂野地区新規需要米 14.1ha/全水稲面積 217.4ha)	11.6% (坂野地区新規需要米 25.1ha/全水稲面積 216.5ha)				21.1% (坂野地区新規需要米 42.0ha/全水稲面積 198.8ha)	20.8%	水稲作付面積のうち新規需要米が占める割合が2.5ポイント増加したが、目標値に対して9.5ポイント下回った。	乾燥調製施設 建屋(444㎡) 荷受設備(9t/時間) 循環型乾燥機(10t×7基) 放冷タンク(10t×7基) 糶摺り機(6インチ×2基、6t/時間) 米選機(6インチ対応×2台) 貯留タンク(一式) 色彩選別機(2.1t×4台) フレコンスケール3台 排塵・集塵設備(一式)				
小松島市	ほのか株式会社	土地利用型作物(稲)	10a 当たり労働時間を29.1%削減	10a 当たり労働時間を29.1%削減	10a 当たり労働時間を29.1%削減	10a 当たり労働時間を29.1%削減	10a 当たり労働時間を29.1%削減	10a 当たり労働時間を29.1%削減	102.8%	土地利用型作物(新規需要米)	水稲作付面積のうち新規需要米が占める割合を12.0ポイント増加	9.1% (坂野地区新規需要米 19.5ha/全水稲面積 215.7ha)	6.5% (坂野地区新規需要米 14.1ha/全水稲面積 217.4ha)	11.6% (坂野地区新規需要米 25.1ha/全水稲面積 216.5ha)	21.1% (坂野地区新規需要米 42.0ha/全水稲面積 198.8ha)	20.8%	水稲作付面積のうち新規需要米が占める割合が2.5ポイント増加したが、目標値に対して9.5ポイント下回った。	乾燥調製施設 建屋(444㎡) 荷受設備(9t/時間) 循環型乾燥機(10t×7基) 放冷タンク(10t×7基) 糶摺り機(6インチ×2基、6t/時間) 米選機(6インチ対応×2台) 貯留タンク(一式) 色彩選別機(2.1t×4台) フレコンスケール3台 排塵・集塵設備(一式)	170,624,880	67,164,205	0	0	103,460,675	平成30年3月30日	令和元年度の実績は、引き続き労働時間の削減において多大な効果があった。乾燥調製設備の操作にも慣れてきており、糶摺りと同時に張り込み等を行い、運用の仕方を効率よく変更している。ただし、令和元年度は収穫直前に台風による倒伏被害があったため、品質面においてバラツキが多かった。そういう状況の中でもスムーズな作業に務めたことから労働時間の削減の成果目標は達成できた。しかし水稲の作付面積の目標は、未達成となった。	コンバインの待機時間短縮により収穫作業時間が削減されたことや、乾燥調製設備の操作に慣れてきたことなど、効率的な運用ができたことから、10aあたりの労働時間が29.9%削減され、成果目標①については100%以上の達成率となった。	一方、成果目標②については、新規需要米の取引先との契約により大幅な増産ができたものの、契約先の新規開拓がまだ不十分だったため、目標値を9.5ポイント下回った。		
石井町	みのるファーム株式会社	野菜(ミニトマト)	当該品目の秀品その他品質の上位規格品の割合を15.0ポイント増加	当該品目の秀品その他品質の上位規格品の割合を15.0ポイント増加	当該品目の秀品その他品質の上位規格品の割合を15.0ポイント増加	当該品目の秀品その他品質の上位規格品の割合を15.0ポイント増加	当該品目の秀品その他品質の上位規格品の割合を15.0ポイント増加	当該品目の秀品その他品質の上位規格品の割合を15.0ポイント増加	112.0%	野菜(ミニトマト)	当該品目の全出荷量に占める契約取引の割合を50.8ポイント増加	0.0% 契約販売量0t 総出荷量0t	0.0% 契約販売量0t 総出荷量0t	67.8% 契約販売量41.5t 総出荷量61.2t	81.3% 契約販売量78.0t 総出荷量96.0t	50.8% 契約販売量47.0t 総出荷量92.4t	160.0%	当該品目の全出荷量に占める契約取引の割合が81.3ポイント増加した。	生産技術高度化施設 高度環境制御栽培施設 栽培ハウス 1棟 5,880㎡ 養液栽培設備 一式 統合環境制御装置 1台 その他附帯設備 一式	225,720,000	104,500,000	0	0	121,220,000	平成30年3月30日	順調な栽培により目標出荷量92.4tを上回る96tを達成し、その内78tは三井物産、サントリーフーズとの契約販売であり、全体出荷量の81%と目標50.8%を大きく上回った。また、上位規格品の取り組みはサントリーフーズのプレミアム高糖度品種「純あま」を全体面積の20%に導入し、年間を通じてkg単価700円の有利販売で出荷量は16.2tと全体販売量の約17%になり目標を達成した。	出荷前熟度検査により選別した上位規格を「おべんとプレミアム」と位置づけ、高付加価値商品として有利販売につなげている。また、周年生産体制により契約取引を主体とした出荷体系をとることにより、総出荷量の約8割を契約取引とし、経営の安定を図っている。これらの取組により成果目標を達成した。今後とも実需者のニーズに応じた品質の確保と生産の安定を図るよう指導していく。		
都道府県平均達成率	80.2%	総合所見	県平均達成率は未達成となった。新規需要米の作付割合の目標が未達となったため、引き続き、水稲作付面積の拡大、県内畜産農家とのマッチング、複数年契約の推進等、県農業支援センターをはじめ、県内関係機関と連携してフォローアップを継続する。																										

(注) 1 別紙様式1号の2のIに準じて作成すること。  
 2 要綱第3の4の(2)のAのただし書きの場合にあっては、事業実施後の状況の欄を追加し、記入すること。  
 3 別添として、各事業実施主体が作成した事業実施状況報告書を添付すること。  
 4 「事業実施主体の評価」欄と、「都道府県の評価」欄については、評価の対象となる年度のみ、それぞれの所見を記入すること。  
 5 「総合所見」欄については、評価実施年度の取組について、都道府県全体の総合所見を記入すること。  
 6 「都道府県平均達成率」欄は、都道府県において事業実施地区で掲げている成果目標毎の達成率の平均値とする。